

街歩きヒストリア

(65)

明星院の被爆イチョウ

二葉の里



困難に耐えて蘇った被爆イチョウ。折り鶴も捧げられています。

明星院境内に立つイチョウの木。幹には観音さまの仏頭が据えられ、人々を優しく見守っています。

樹齢約 150 年。木は原爆にも耐えて生き残りましたが、その後の落雷や度重なる台風で、遂に枝が全て折れ、腐食した幹の一部をくり抜くほどになってしまいました。

中央公民館エリア（白島、基町、幟町）の街の魅力などを紹介するコラム「街歩きヒストリア」。



仏頭は二〇二二年十二月に安置されました。

そんな木からある日新芽が。それを見た住職の八木恵生さんは、その生命力に感銘を受け、幹の穴に仏頭を安置して命の尊さを讃えることにしたのだそうです。

今、新芽は見事に成長して青々と葉を茂らせています。私もそのパワーに感動し、また同時に末永い平和を祈りました。



(文・写真
小川敏明さん)